

平成18年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	看護専門学校	内線等	8006
----	-------	--------	-----	------

事業コード	事務事業名	学生生活支援事業
根拠法令等	蒲都市立ソフィア看護専門学校の設置及び管理に関する条例、保健師助産師看護師学校養成所指定規則、看護師養成所の運営に関する指導要領、看護師養成所の運営に関する手引き、学校教育法、学校保健法、感染症法、看護師等の人材確保の促進に関する法律	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>A法令</span> <span>B条例</span> <span>C規則</span> <span>Dその他</span> <span>Eなし</span> </div>

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	医療
------------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	看護専門学校の学生に対して
手段	心身の健康を管理し、自主的活動を支援し、就学、就職・進学支援を行うことで
想定する成果	健全で自主性に富んだ看護職業人を養成し、地域社会に貢献する。

事業の概要

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画		
学生数(a)	118名	113名	110名		
出席率(b)	99.3%	99.5%	99.5%(予定)		
健康管理支援	健康診断受診率	100%	100%		
	継続要観察者	3名 (2.7%)	4名 (3.4%)	4名(予定) (3.6%)	
	ウイルス性感染症(2)抗体未獲得者数	10名	19名	18名	
	ウイルス性感染症(2)の予防接種率	100%	100%	100%	
	インフルエンザ予防接種率	95.7%	100%	100%	
	ウイルス性感染症(2)の罹患者数(c)	2名(おたふく風邪2名)	2名(おたふく風邪1名、水痘1名)	0名	
インフルエンザの罹患者数(c')	1名	0名	0名(予定)		
・自主的貢献活動	学生自治会加入率	100%	100%	100%	
	ボランティア参加件数	3件	3件	3件	
	ボランティア参加者数(延べ)	38名	46名		
	学校祭の学生の参加率	100%	100%	100%	
	学校祭の参加市民数(d)	662名	723名		
既卒者の来校件数(年間)	282名	209名	245名予定 (過去2年間の平均者数)		
就学・就職・進学支援	卒業生数(入学者数に占める割合)	37名 (92.5%)	31名 (77.5%)	29名(予定) (74.4%)	
	進学者数	2名(大学編入)	1名(助産師学校)	1名(助産師学校進学希望)	
	就職者数(e)割合	33名	30名	28名(予定)	
	内訳	東三河地区病院	16名 (48.5%)	16名 (53.3%)	23名(予定) (81.2%)
		実習施設	7名 (21.2%)	16名 (53.3%)	19名(予定) (67.9%)
		蒲都市内病院(f)	7名 (21.2%)	16名 (53.3%)	13名(予定) (46.4%)
		蒲都市民病院	6名 (18.2%)	16名 (53.3%)	13名(予定) (46.4%)
奨学金貸与希望者に対する貸与率(貸与人数)	100% (7名)	100% (4名)	100% (9名)		

1: %は、就職者数に対する割合  
2: 水痘・風疹・麻疹・おたふく風邪

成果指標

成果指標名	出席率(b)	学校伝染病罹患率	学校祭市民参加数	蒲都市内病院への就職率
成果指標の説明	出席すべき日数に対する学生の出席の割合	学校伝染病罹患者(c+c') / 学生数(a) × 100	当該年度の参加市民数(d) / 学生数(a)	蒲都市内病院への就職者数(f) / 就職者数(e) × 100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

成果指標	平成17年度決算		平成18年度決算		平成19年度予算	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
出席率	99.3%	99.3%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%
	2.5%	2.5%	1.8%	1.8%	0%	0%
来校率	5.6倍	5.6倍	6.4倍	6.4倍		
	-	-	-	-	46.4%(内定者による)	46.4%(内定者による)
事業費	21.2%	21.2%	53.3%	53.3%		
	407	407	392	392	430	430
	12,870	12,870	10,119	10,119	11,834	11,834
	1.6	1.6	1.3	1.3	1.5	1.5
合計	13,277	13,277	10,511	10,511	12,264	12,264
財源内訳	国					
	県					
	市債					
	その他	407	407	392	392	430
一般財源	12,870	12,870	10,119	10,119	11,834	11,834

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	-	3	-	<p>健康管理支援において、学生の出席率が99.5%であることは学生の心身の健康管理ができておりと評価できる。健康診断受診率は100%であり、要継続観察者の発生率は3%内外と低い。健康に関わる職業教育という本校の使命に沿い、学生に健康の自己管理の指導を行っていることが、良い結果を導いたと考える。また、毎朝、教員が学生の様子を目視チェックにより、健康状態の把握に努め、健康問題の早期発見・早期対応を行っていることで、健康管理がより適切に行えていると考える。</p> <p>感染症対策については、抗体値の測定と予防接種の徹底により、学校伝染病の発生は年間2件のみで、集団感染は引き起こしていないことから評価できる。</p> <p>学生の自治活動については、学生の自治会加入率は100%であり、活発な活動をしていることは、学校への帰属意識の高揚に寄与している。また、既卒者の年間来校件数が200件を優に超えることから、卒業生の本校への愛着度は高く、愛校精神は形成されていると判断できる。このことは出席率99%の要因につながっていると判断できる。</p> <p>社会的貢献についてはボランティア活動と学校祭の地域への開放をあげているが、それぞれ成果を上げている。学校に依頼があった学生ボランティアについては、青年期の女性が多いことを考慮し、安全性の高いもの、地域貢献度の高い内容のものを精選しているため、年間3件にとどまっている。しかし、3件のボランティアに3割以上の学生が参加していることは評価できる。</p> <p>学校祭も学生の自主的な運営によるが、地域への周知がすすみ、リピーターが多く、昨年度は723名にのぼり、定着化が進んでいるといえる。しかし、学生数の6倍を超えていることから、良質の祭り内容を提供するためには限界に達している。学生の6倍を集客能力の限度として対応していきたい。</p> <p>就職・進学支援は、看護職業人を養成する社会的使命を持つ本校においては重要な事業である。就職・進学率が100%（国家試験不合格者は除く）であることは、3年間の養成機関を通じ、就業意識の形成・向上を図った結果であると評価できる。また、蒲郡市内への就職が過半数を超えたことは、学校の存在価値が理解された結果であると評価できる。就学支援は、学生の就学継続の可否を決定する要因になる。経済的に就学困難な学生に対しては、日本学生支援機構や医療機関独自の奨学金が貸与されるように紹介・仲介している。希望者に対し、100%達成していることは評価できる。しかし、蒲郡市内医療機関においては、蒲郡市民病院しか奨学金制度がなく、しかも貸与人数の枠が狭いため、他市・他県の奨学金制度を紹介せざるを得ない現状である。</p>
経済効率性	2	-	2	-	<p>平成18年度は、ウイルス感染症の罹患者が1名・インフルエンザでの欠席者は0名であったことは、感染予防対策の対策の効果はあり、出席率が99.5%であることから経済効率は高いといえる。平成19年度流行した麻疹についても、毎年抗体値の検査及び予防接種が講じられているため、改めて検査・予防接種対策を講じる必要性もなかった。健康診断の費用の中で、感染予防の観点から実施しているHCV抗体価、水痘・風疹・麻疹・おたふく風邪の抗体値の把握及び予防接種の費用は、医療に従事する者の自己責任における自己管理の観点から学生が負担をしている。蒲郡市内への就職率が、平成17年度は21.2%であったのに対し、平成18年度は53.3%となったことは、蒲郡市が設置・運営している学校としての役割を果たしていると考えられる。また、平成19年度においても、46.4%（13名）が蒲郡市民病院を受験した。採用の不可は未定であるが、市内への歩留まり率が4割を超えることが評価できる。</p>
事務効率性	2	-	2	-	<p>学生が健全な心身で就学を継続するためには、学生の危険信号を察知できる教職員の日々の木目細やかかなかわりや、アカデミックハラスメントととられないための相談しやすい風土作りが極めて重要である。そのため、教職員は神経を使うとともに多大な労力を要している。日々の健康管理は、教務全体が学生を観察しながら指導している。しかし、健康診断結果についてはプライバシーに係わるため、専任を決め、指導にあたっている。事務効率性はあまりよくないが、健康診断の結果の要治療者、生活習慣病の予備軍、感染症に対する抗体未獲得者に対しては、随時指導・確認を一人一人行っており、健康管理の点から意義がある。</p> <p>学生の自主的活動の支援は、学生の自主性・協調性、企画力・指導力を養うために、「試行錯誤させる」、「十分論議させる」といった学生たちの内発的動機形成を見守りながらさせていくので、事務効率性の点からあまりよくない。しかし、そのような活動を通して、学生が達成感を感じ、自己成長できる。その観点から捉えると効率性は高い。さらに、学校祭においては、一般市民参加者が毎年増加しており、昨年度は、前年度比110.6%であったことから、地域の方々との交流・地域貢献、学校の知名度の向上に寄与していると思われる。</p> <p>就職・進学の支援事業は、学生の能力・適性に応じた就職・進学先を選択することは重要である。そのため、学生個々の能力・適性や関心分野、出身地などと病院の状況（病院の特徴・将来性、卒業後の体制等）を照らし合わせて個別に指導に当たるので、面接指導が中心となり時間を要し効率は悪い。また、卒業生に関しても、離職を防止するためのフォローアップや、病院間・内部の異動に関する助言を行い、成果を得ている。なお、病院の状況把握のための病院からの求人活動に対する個別面接は主に副学長が対応している。1件あたり1時間かかっている。看護師不足の折から、訪問件数が増加しており、また再訪問の件数も増大しており、対応に膨大な時間を要している。病院との連携をとるために必要ではあるが、過大すぎる現状である。</p>
必要性	3	-	3	-	<p>学校生活支援事業は、学生が帰属意識の高揚を図るとともに、看護師を目指して学業に専念・継続するために重要な事業である。健康管理支援の中で、健康診断は、学校保健法の該当事業のため必須の事業である。健康に関わる職業であるため、感染症の抗体値を測定し、抗体未獲得者は予防接種を指導していることは費用がかかるが、校内での感染予防に寄与している。特に、臨地実習においては、患者の感染を防止し、患者からの感染を予防するために重要な役割を果たしている。さらに教員による登校時の学生の目視チェックは、異常の早期発見・早期対応のために不可欠である。また、表情・姿勢などを見ることにより、心の健康のチェックもでき、早期カウンセリングにより心身の健康の保持の一助を担っている。</p> <p>自治会活動を中心とする自主的活動については、本校の教育姿勢である「Partnership」、「Interest」、「Action&amp;Achieve」といった専門職としての姿勢の涵養に重要な意味を持つ。また、学生の満足度を高め、帰属意識の高揚・愛校心の形成は、学業継続の意思を高める因子となり、中途退学の防止対策としての意義も高い。</p> <p>社会貢献活動は、学校の存在を市民にアピールする機会として重要であり、また、将来の入学生の確保対策における意義も大きい。就学・就職・進学の支援は、3年間かけて専門職業人となるために、専門的知識・技術を修得させ、職業倫理や態度形成を目指して教育していく上で重要なことである。また、現在看護師の就職1年以内の離職率が1割を超えている（全国平均）が、養成コストを考えると非常に不経済である。そのため学生の能力・適性を踏まえた就職先の選定は、早期離職を防止する上でも重要である。</p>
小計	10		10		
施策への貢献度	3	-	3	-	<p>学生生活（健康管理、自主的活動・地域貢献、就職進学）支援は本校の設置目的達成のためにも必要な事業である。</p>
合計	13		13		

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	A	-	A	-	
	A	-	A	-	<p>健康管理については、出席率が高く、感染症の集団発生や患者との感染症の伝播が無いということから、適切な健康管理ができておりと評価できる。</p> <p>学生の自主的活動については、自治会活動やボランティア活動に自主的・積極的にできており、また地域にも貢献できているため評価できる。</p> <p>就学・就職・進学支援については、平成18年度の就職・進学率は100%であることから、専門職業人としての就業意識を形成したものと評価できる。また、毎年、進学希望者があり、卒業生（1～6回生）の進学実績は助産師学校に7名、保健師学校に1名、看護大学編入が2名であることから評価できる。</p>

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度におたふく風邪に2名が罹患したため、ワクチン接種を指導する抗体値の基準を見直した。	

今後改善すべき点

<p>卒後教育の充実している・待遇のよい病院への就職が円滑にできるよう、質の高い医療機関との連携を強化。</p> <p>奨学金貸与と医療機関の拡大</p> <p>現在、ハラスメントの問題は出ていないが、他の大学・専門学校で問題が生じているため、学生及び保護者との人間関係を良好に保ち、ハラスメントととられないための一層の留意</p>
--

平成20年度予算に反映する項目

学生健康診断委託料
-----------

今後の方向性

拡大・充実・見直し、縮小・現状維持・検討中  
【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】